



18:00					23:00	24:00
交流 現地の 学生との					就寝	

#### (4) 休日の過ごし方

過去に横浜市立大学に留学に来たことのある現地の女学生にお願いしてバンコク市内やアユタヤを案内してもらいました。現地の学生とのお互いの情報を交換しながらの観光は、非常に中身の濃い有意義なものになりました。

#### 4 感想等

今回の留学の自分の中での位置付けは、医学の勉強というよりも、医療の勉強でありました。母国以外の医療に触れることで今まで自分にはなかった着眼点やモノの見方を得ることができ、日本の医療をまた別の角度から見られるようになったのではないかと思います。

##### ①留学を通じて感じたこと

留学前、今回の留学は『タイの医療について学ぶ』ために留学だと思っていましたが、いざ現地で実習を行ってみると、タイの医療のことだけでなく、『世界の中での日本の位置付け、日本人に対するイメージ』についても学ぶことがたくさんあるということに気がつきました。これからの医療において、日本がどう変わるべきか、世界の中でどのような役割を果たすべきかということについて、もっと自分も真面目に考えていく必要があると感じました。

##### ②今後、この経験をどのように活かすか

今回の経験を通じて、自分の中での海外留学のハードルが少し下がったような気がします。私は将来、海外で公衆衛生学を学びたいと思っており、今回の経験は、次なる留学の糧になると信じております。

また、今回タイの医学教育について見習うべき点をいくつか見つけたので、自身が教育者となったときにそれらを活かしたいと考えております。

##### ③後輩へのアドバイス

留学を有意義なものにするには、英会話力は必須であると思います。英語を上手に使いこなせれば、現地の方々との距離をより縮めることができますし、コミュニケーションを通じてより深く情報を得ることができます。

医学の勉強に時間を取られて英語学習に時間を割くのは大変だと感じる方も多いと思いますが、毎日ほんの数十分英語に触れるだけでもそれなりの効果は得られると思います。私のように英語に自信がないという方は、是非医学の勉強のリフレッシュだと思って英語学習にも手を出して見てください。

# 医学部医学科 留学プログラム 情報共有シート

氏名 N.H. 学年（留学当時） 5年

派遣期間 2019年3月2日(土)～2019年3月16日(土)

留学先 タマサート大学

## 1 プログラム内容について

リサーチ・クラークシップでの留学

クリニカル・クラークシップでの留学

その他

実施内容：

総合内科における病棟実習、講義、カンファレンス参加

消化器内科における内視鏡、外来見学

循環器内科における冠動脈造影手技見学

HIV 専門外来見学

## 2 宿泊施設について

寮

ホームステイ

ホテル

- ・広さ 約 20 m<sup>2</sup> 4人部屋
- ・費用 約 1万 円 / (1日・2週間・1か月間)

## 3 生活について

### (1) 生活費（寮費を除く）

項目	金額	内 訳
食 費	約 2.5 万円	
学用品購入費	なし	
交 通 費	ほぼなし	
そ の 他	約 1 万円	観光
合 計	3-4 万円	

### (2) 治安状況・危険地域など

とくに治安の悪いところはありませんが、キャンパス外には野犬がいるので、注意したほうがいいかもしれません。

ちなみに蚊が多く、マラリアの好発地域でもあるので、蚊よけや丈の長いボトムスが便利だと思います。

(3) 一日のスケジュール(月～金)

6:00						12:00					17:00
	起床	参加 病棟・カンファレンス					講義があれば参加				実習終了

18:00						24:00
図書館などへ移動	夕食				就寝	

(4) 休日の過ごし方

アユタヤやバンコクへ観光に行きました。公共交通がないに等しいので、タマサート大学の事務スタッフのブンソンさんや留学で知り合ったタイの友人に相談するといいかもかもしれません。

4 感想等

① 留学を通じて感じたこと

病棟でお世話になった6年生のタイの学生は研修医に相当する環境下で訓練されており、勉学に対する勤勉な態度や向上心には大変感銘を受けました。タイでは医療資源や人員配置に不足が見られますが、それを補うための実践的な医学教育を行うために熱心な教育体制がしかれておりました。たいていの学生や先生方が英語で会話できることにも驚かされました。

② 今後、この経験をどのように活かすか

残り一年となった学生生活において、できうる限りの医療知識を習得し、スムーズに研修医生活へ活かせるよう邁進いたします。今回得た医療英語の知識を風化させないよう、多くの英語資料など活用していきたいと思えます。

③ 後輩へのアドバイス

日本よりも実践的な医学教育が行われており、同学年の学生としてこうも違うのかと実感するには大変いい経験となります。英語が聞き取りにくかったり、タイ語がメインの場面が多いので、積極的に質問にいけるといいと思えます。

生活に関して、ネット環境が皆無なので、各自用意が必要です。寮の部屋に特に支障はありません。食事が問題となりますが、夕食はキャンパス外に食べに出ざるを得ないと思えます。レストランや屋台はタイ語のみなので、苦手なものが多い方は注意が必要です。